

Ⅱ. 「スマホ・SNSのトラブルから子どもを守る指導者研修資料」を活用した 指導の手引き

大阪の子どもを守るネット対策事業

(文部科学省委託事業) 実行委員会

事務局：大阪府福祉部子ども家庭局子ども青少年課

作成協力：株式会社ディー・エヌ・エー

監 修：兵庫県立大学准教授 竹内 和雄

【本手引きの活用について】

- 近年、スマートフォンや無料通話アプリの急速な普及に伴い、児童・生徒が様々な事件やトラブルに巻き込まれる事例が増加しています。
- そのため、大阪府では、平成26年度から文部科学省委託事業を活用して、具体的なネットトラブル事例とその回避策について学ぶ「スマホ・SNSのトラブルから子どもを守る指導者研修」を実施しています。
- 本資料は、株式会社ディー・エヌ・エーの協力を得て、研修資料と併せて、児童・生徒の指導に活用いただけるように指導のポイントを盛り込み作成したものです。(対象：小学校高学年～高校生)


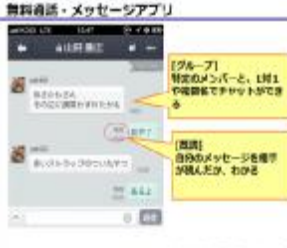
【目次】


1. 出会い関連のトラブル
2. お金／時間の使い過ぎに関するトラブル
3. 個人情報に関するトラブル
4. コミュニケーションに関するトラブル
5. まとめ
6. (参考) 保護者の皆様へ

1 : 出会い関連のトラブルNo 1

■ねらい

スマートフォンやゲーム端末について、子どもたちがどのように利用しているのか、利用実態を体験しながら把握する。

■展開	■DC	■留意点
<p>(1)無料通話アプリを活用して、子どもたちが良く利用するサービスを理解する。</p> <p>DC : 1-1 「無料通話アプリとは」 ・Q1 どんなことができるか？</p> <p>DC : 1-2 「グループチャット」 ・Q2 実際に「グループチャット（グルチャ）」を利用して、子どもたちが利用する理由を考えてみよう。</p> <p>また子どもたちが利用する上で、注意が必要な点を考えてみよう。</p>	<p>DC = デジタルコンテンツ</p>  	<p>◇無料で音声通話やグループ間でのメッセージ交換ができる。</p> <p>◇電話回線ではないため、災害時でもネットに接続できていれば、利用できる。避難などの際の連絡手段としては有効である。</p> <p>◇短文やスタンプ等を活用して、メッセージ交換をしている。</p> <p>◇楽しくてつい長時間利用してしまう。</p> <p>◇相手が自分のメッセージを読むと“既読”という表記ができるので、相手への気遣いから直ぐに返事をする傾向がある。</p> <p>◇メッセージ交換が深夜まで続く場合もある。</p> <p>◇複数のグループでメッセージ交換をしている。</p>

■ 展開	■ DC	■ 留意点
<p>(2)無料通話アプリで発生しているトラブル事例を理解する。</p> <p>DC：2-1「出会いに関するトラブルについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> Q1 どのようなところでトラブルが発生しているのか？ <p>DC：2-2「ネットで出会った相手とトラブルになった事例」</p> <ul style="list-style-type: none"> Q1 どのようにトラブルが発生しているのか？ <p>DC：2-3「事件の構図」</p> <ul style="list-style-type: none"> Q1 どのような手口で犯罪者は子どもたちにアプローチしてくるのか？ 	 <p>児童から発信のより、被害事例</p> <p>SNSで知り合った相手とトラブルになった事例</p> <p>トラブル事例：よくある事例（事件が起る構図）</p>	<p>◇警察庁がSNS起因での被害児童数を発表している。</p> <p>◇令和元年をピークに減少に転じたものの、ほぼ横ばい傾向であり、高水準のまま推移している。</p> <p>◇被害児童と被疑者が知り合うきっかけとなった最初の投稿者の割合は、被害児童からの投稿が74.9%を占める。被害児童の投稿内容の内訳は、「プロフィールのみ」や「趣味・嗜好」、「友達募集」、「日常生活」、「オンラインゲーム友達募集」で半数以上(53..7%)を占める。</p> <p>◇悪い大人が性犯罪目的等で子どもたちにメッセージ交換を持ちかけ、事件に発展するケースが増えている。</p> <p>◇犯罪者は、性行為等を目的に子どもに近づき、実際に犯罪を行うが、被害者側には優しく話を聞いて相談にのってくれたと思っている被害者意識のない子どもも多い。</p>

1 : 出会い関連のトラブル№2

■ねらい

スマートフォンやゲーム端末について、子どもたちがどのように利用しているのか、利用実態を体験しながら把握する。

■展開

(3)無料通話アプリでの出会いに関する
トラブルの回避策について理解する。

DC : 3-1

「ネットで知り合った人に会いにいかない」

- ・ Q1 : 「子どもたちは、なぜ会いにいつてしまうのか」

DC : 3-2 「プライバシー管理設定」

- ・ Q1 : 無料通話アプリの設定で子どもたちを守るには？

■DC

ゲームやネットの中でやりとりしている
会ったことのない相手は・・・？



本当はどんな人なのかは分かりません！
実際に会うのはとても危険です！

■無料通話アプリトラブル回避のポイント

■設定画面から「プロフィール」または「プライバシー管理」をタップして「IDの検索を許可」の設定を「オフ」から「オン」に変更しましょう。（下記は「オフ」の状態で示す）



■留意点

◇様々な事情で家族や友だち、先生に相談できない子どもたちが、ネットで相談にのってくれる人を探している。

本当は、身近な人に聞いてほしいけど、相談できる相手がなくて、ネットの世界で相談相手を探している。




◇犯罪者は性別や年齢を偽っていることが多いが、被害者は実際にあったことのない相手を信じている傾向がある。

◇「IDの検索を許可」の設定を「オン」から「オフ」にすることで、知らない人からIDを検索されるリスクを減らせる。

2：お金/時間の使い過ぎに関するトラブル

■ねらい

お金の使い過ぎや深夜までのグループチャット利用等の問題事象に対して、パスワードの管理など、自己管理が必要となることをトラブル事例を通じて把握する。



■展開	■DC	■留意点
<p>(1)お金の使いすぎに関するトラブル事例とその回避策について理解する。</p> <p>DC：1-1「お金の使い過ぎ」 ・Q1：「高額課金とは」</p> <p>DC：1-2「事業会社の対応」 ・Q2：「事業会社はどのような対応をしているか」</p>	<p>事例：お金の使い過ぎ</p>  <p>事例：お金の使い過ぎ</p> <p>事業会社の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ■返金される可能性があります ■金額制限を設けています 	<p>◇小学生は保護者の端末を借りている際や1度だけという約束を破って課金してしまうケースがあります。</p> <p>中高生では保護者のクレジットカードを無断で利用し、高額の利用をしてしまうケースがあります。</p> <p>◇事業会社によっては未成年者が保護者の承諾なく課金した場合、返金対応をしている会社もある。(全ての会社ではない。)</p> <p>保護者から相談があった場合、サイト運営会社に相談するように促してください。(お住まいの市町村消費生活相談窓口でも対応)</p>
<p>(2)時間の使いすぎに関するトラブル事例とその回避策について理解する。</p> <p>DC：2-1「時間の使い過ぎ」 ・Q1：「深夜までチャットとは」</p> <p>DC：2-2「深夜利用の弊害」 ・Q2：「夜中までスマホに夢中になるとどのような弊害があるか」</p>	<p>事例：時間の使い過ぎ～深夜のチャット</p>  <p>事例：時間の使い過ぎ～深夜のチャット</p> <p>夜中までスマホに夢中になると・・・</p> 	<p>◇仲良しの友だち、クラスやスポーツチーム等でグループチャットをしているケースがあるが、チャットが長時間続いたり、深夜にメッセージのやり取りがされていることがある。</p> <p>◇夜遅くまでスマホを利用して「寝つけない」、それゆえ翌朝「起きられない」、スマホが気になり「勉強に身が入らない」といった状況に陥っている生徒もいます。</p> <p>朝一番で保健室に来る生徒が増えているが、深夜までのスマホやインターネット利用が原因となっていることが多い。</p>

■ 展開	■ DC	■ 留意点
<p>DC：1-3「家族でのルール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q3：「時間に関するルール作成上のポイントは」 <p>(3)パスワードの管理に関するトラブルとその回避策について理解する。</p> <p>DC：3-1「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「アカウントとは」 <p>DC：3-2「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「どのようにパスワードを聞き出してくるか」 <p>DC：3-3「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「パスワードを聞き出して何をしているか」 <p>DC：3-4「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「パスワードを教えてしまうとどうなるのか」 <p>DC：3-5「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「警察などに相談するとどうなるのか」 <p>DC：3-6「アカウントの乗っ取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1：「パスワードの管理」 		<p>◇保護者が一方的に決めたルールは、子どもにはルールという認識を持たない傾向があるため、親子で対話しながらスマホやインターネット利用に関するルールについて話し合うことが必要。</p> <p>また、定期的な見直しも有効です。</p> <p>◇小中学生がインターネット上のサービスのパスワードを他人から聞き出し、勝手にログインしてパスワード変更をする不正アクセスの加害者や被害者になっているトラブルがあります。</p> <p>◇他人のID、パスワードで不正にアクセスすることは法律違反です。</p> <p>悪ふざけのつもりで友だち同士でも同様のトラブルになっているケースがあります。</p> <p>◇インターネット上の知らない第三者から不正アクセスを受けた場合、当事者や保護者、教職員に相談しても解決できないことがあります。そのため、警察に相談されるケースが多いです。</p> <p>子どもたちを加害者にしないためにも法律違反になること、してはいけないことであることを伝えてください。</p>

3：個人情報に関するトラブル№1(無断撮影・掲載)

■ねらい

最近のスマートフォンや携帯電話のカメラ機能の画質がよくなったため、デジカメ代わりに使用する生徒が増えている。一方で、撮影した写真をめぐるとラブルが増えているため、トラブル事例とその回避策を把握する。




■展開	■DC	■留意点
<p>(1)友だちの写真を勝手に撮影したり、本屋さんやコンビニで雑誌など購入せずに気になるページだけ「カシャッ」と撮影している生徒や、大好きなアイドルなどが出演しているTV番組を撮影して、ネットにアップロードするような使い方をしている生徒もいます。</p> <p>写真撮影に関するトラブル事例とその回避策について理解する。</p> <p>DC：1-1「個人情報に関するトラブル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q1：「問題のある写真撮影とは」 ・Q2：「どのような法律違反になるのか」 ・Q3：「いじめにつながる写真撮影とは」 	<p>事例：写真撮影</p>  <p>事例：写真撮影</p> <p>△ちよっと待って！</p> <p>勝手に誰かの写真を撮る・プライバシー侵害</p> <p>撮影禁止の場所・物を撮る・著作権侵害</p> <p>そしてその写真を友達に送ったり、ネットに流す・・・</p> <p>それって・・・</p> <p>事例：写真撮影(ゲーム機を使ったもの)</p> <p>■小学校6年生の男子児童が、同級生に無断やり全裸にされ、ゲーム機のカメラで動画撮影されたり、下半身の写真を撮られたりするなどいじめを受けていた。</p> <p>■男子中学生4人が同じ運動部の一人に対して悪行を加えている動画が、インターネット掲示板に掲載されていた。</p> 	<p>◇勝手に誰かの写真を撮る、撮影禁止の場所や物を撮る、それらの写真を他の友達に送ったり、ネットに流すなどの利用をしていると、「プライバシーの侵害」、「著作権侵害」、「肖像権の侵害」など他人の権利の侵害に該当する場合があります。</p> <p>◇撮影してよいか迷った場合は、大人に相談するように促してください。</p> <p>◇ゲーム端末のカメラ機能を活用して小学6年生が、同級生に無理やり裸の動画を撮られるなどのいじめを受けていた。</p> <p>裸の画像は、事例によっては、児童買春・児童ポルノ禁止法に該当する場合があります。</p> <p>友だちの裸の写真を撮ったり、誰かを傷つけたりいじめの道具ではないことを伝える必要がある。</p>

3：個人情報に関するトラブル№2(位置情報機能)

■ねらい

GPS機能を活用してスマートフォンや携帯電話などでも写真に位置機能が付加された状態で撮影することができる。

一方で、撮影した場所が特定されることからストーカー被害なども発生しているため、トラブル事例とその回避策を把握する。



■展開	■DC	■留意点
<p>(2)位置情報サービスを「オン」の状態の写真撮影すると写真に現在の位置情報が付加されます。時間の使いすぎに関するトラブル事例とその回避策について理解する。</p> <p>DC：1-1「個人情報に関するトラブル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q1：「位置情報を「オン」で写真撮影すると」 ・Q2：「付加された位置情報からわかること」 ・Q3：「対策は」 	<p>事例：GPS付カメラで撮影した写真</p>  <p>撮影場所 (住所) 撮影日時までわかっしまいました！</p> <p>位置情報が判明したことによるトラブル事例・・・</p>  <p>「お散歩のときに公園のみんなの写真を撮るー！ 撮影場所がわかるから、話題のらぶらぶら見てねー！」</p> <p>じゃあ、この場所、写真と結びついたらどうなるの？</p> <p>ストーカー行為の被害者などが実際に発生している</p> <p>GPS付のカメラで撮った写真には・・・</p> <p>位置情報が記録されている！ 位置情報を「オフ」にして写真撮影しましょう！</p>  <p>ユーザーの保護</p> <p>写真に現在の位置情報が付加されます。写真がカメラで撮影されたとき、iPhoneが場所を記録するときは、現在の位置情報も一緒に記録されます。</p> <p>位置情報サービス</p> <p>位置情報サービスは、写真やメール、メッセージ、その他のアプリに位置情報を付加し、位置情報に基づいてサービスを提供します。</p> <p>位置情報サービスは、写真やメール、メッセージ、その他のアプリに位置情報を付加し、位置情報に基づいてサービスを提供します。</p>	<p>◇位置情報を「オン」で撮影すると、撮影場所、日時、撮影機種などがわかってしまいます。</p> <p>◇位置情報が記録された写真をブログ等のインターネット上に掲載すると、最新の端末では、高さもわかるため、マンションやアパートの部屋まで特定が可能となっています。</p> <p>◇プライバシー設定で位置情報サービスを「オフ」に設定する。 一律に「オフ」にすることに支障があれば、少なくとも「カメラ」機能について「オフ」に設定することが望ましい。</p> <p>◇自宅の位置情報と子どもが家に1人であることが、第三者にわかることは防犯上も好ましくない。</p>

4 : コミュニケーションに関するトラブルNo. 1

■ねらい

友だち同士やネットで知らない人とのメッセージ交換などを通じて、誹謗中傷やメッセージの意味の捉え違いなどでコミュニケーションに関するトラブルが増えているため、トラブル事例とその回避策を把握する。


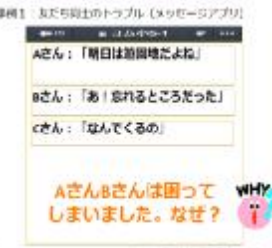
■展開	■DC	■留意点
<p>(1)コミュニケーションに関するトラブル事例とその回避策について理解する。</p> <p>DC : 1-1 「コミュニケーション」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1 : 「インターネットでやり取りする相手は・・・？」 ・ Q2 : 「グループで鍵を掛けていれば大丈夫か？」 ・ Q3 : 「トラブル回避のためには」 		<p>◇twitterやFacebook、ゲーム・SNSサイトなどで子どもたちがコメントを記載したり写真を共有したりしている。</p> <p>見ているのは自分の家族や友だちだけと思っている生徒もいます。</p> <p>インターネット上に掲載した書き込みやアップロードした写真は、全く知らない第三者にも見られる可能性があることを生徒に伝えてください。</p> <p>◇twitterなどのサイトには、「鍵」を掛けると、特定のアクセス権のあるメンバーだけに、情報を開示し、それ以外は制限する機能がある。</p> <p>但し、メンバーの誰かが「面白い写真がある！」と他のサイトなどに転載してしまい、炎上騒ぎとなるケースもある。</p> <p>◇インターネット上に一生残っても大丈夫な書き込みや写真かどうかを確認しながら、利用する必要がある。</p>

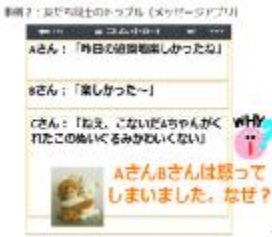
■ 展開	■ DC	■ 留意点
<p>DC : 2-1 「無料通話アプリでのコミュニケーション」</p> <p>・ Q1 : 「なぜ子どもたちは深夜までグループチャットをしてしまうのか？」</p>		<p>◇深夜まで子ども達がグループチャットをしてしまう理由は面白いからや楽しいからだけではない。子ども達の利用実態を子ども達自身に確認したうえで、対応策を考える必要がある。</p> <p>◇相手が自分のメッセージを読むと出てくる“既読”マークがつくと、相手への気遣いから直ぐに返事をする傾向がある。</p> <p>返事をしないと無視していると思われることを嫌い、メッセージが来ると何らかのリアクション(返事やスタンプ)をする傾向がある。</p> <p>これが繰り返され、なかなかグループチャットをやめられず深夜遅くまでの利用となる傾向がある。</p>
<p>DC : 2-2 「無料通話アプリでのコミュニケーション」</p> <p>・ Q2 : 「無断での写真利用」</p>		<p>◇友だちだけに送った写真が、クラス全員にグループチャットで共有されてしまうようなこともあります。</p> <p>(参考事例)</p> <p>◇A子とB君が仲良くお話しをしているところを見つけたCさんが、『あの二人付き合っているのかなあ』と写真を撮り、クラスのグループチャットにツーショット写真を送ったところ、学校中に「A子とB君は付き合っている」という噂が広がったという事例もありました。</p> <p>この事例では、事実ではない噂が広がったため、A子は学校に行くのが怖くなり、不登校になってしまいました。</p> <p>軽い気持ちで撮影し、シェアした写真が大切な友達を傷つけることもあります。</p>

4：コミュニケーションに関するトラブル№2

■ねらい

友だち同士やネットで知らない人とのメッセージ交換などを通じて、誹謗中傷やメッセージの意味の捉え違いでコミュニケーションに関するトラブルが増えているため、トラブル事例とその回避策を把握する。


■展開	■DC	■留意点
<p>DC：2-3「無料通話アプリでのコミュニケーション」 ・Q3：「グループチャット内でのケンカ」</p>	 <p>③ケンカ</p>	<p>◇自分は暇でも相手は忙しいかも知れない。 また、会って話していると相手の反応が顔の表情等でわかるが、スマホなどで離れた場所からのメッセージは、相手の状況や受け取り方がわからないことが多いので、相手を思いやる気持ちをもって、コミュニケーションすることが必要です。</p>
<p>DC：3-1「日常会話からのトラブル」 ・Q1：「遊園地編」</p> <p>仲良し3人組で明日遊園地に行く約束をしていました。 cさんが「なんでくるの」とメッセージを送ったところ、Aさん、Bさんは困ってしまいました。 なぜでしょう？</p>	 <p>事例1：友だち同士のトラブル（メッセージアプリ）</p> <p>Aさん：「明日は遊園地だよね」 Bさん：「あ！忘れるところだった」 cさん：「なんでくるの」</p> <p>AさんBさんは困ってしまいました。なぜ？</p>	<p>◇cさんは明日、電車でくるの？、バスでくるの？と交通手段を質問したのですが、AさんとBさんは「どうしてあなたがくるの」というニュアンスで受け取ってしまいました。</p> <p>仲良しの間でもこのように意味の取り違いが発生することがあります。</p>

■ 展開	■ DC	■ 留意点
<p>・ Q2 : 「ぬいぐるみ編」</p> <p>Cさんは、Aさんから可愛らしいぬいぐるみをプレゼントしてもらい、嬉しくて「このぬいぐるみかわいくない」とメッセージを送りましたが、Aさん、Bさんは怒ってしまいました。</p> <p>なぜでしょう？</p> <p>DC : 4-1 「無料通話・メッセージアプリの困った使い方」</p> <p>・ Q1 : 「夜遅い時間までの利用」</p> <p>・ Q2 : 「友だち同士での間違った利用」</p> <p>・ Q3 : 「事件になってしまった事例」</p>	 <p>無料通話・メッセージアプリの困った使い方</p> <p>夜遅い時間までの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終わらないグループチャット <p>友達同士での間違った利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “○○○○はずし” (仲間外れ、イジメ) ・ “既読”無視 ・ 書き込み内容をめぐるケンカ <p>友だちとのネット会話から事件に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女子中学生 (福岡県) メッセージアプリで「お前が嫌い」と送ったら... 勝手に個人情報を盗まれて集団暴行、保護者からの被害届 ・ 男子中学生 (山形県) メッセージアプリで「可愛くない」と送いたら... 盗られた相手の写真が公開された。悪行を報告する被害届 ・ 男子中学生 (北海道) メッセージアプリで、友達に悪意を込めたこと... 4人がかりで暴行を受け、高学年を暴られ、5人で同じ学校で暴られ、Twitterなどで拡散されるなど被害多発中 ・ 女子中学生 (香川県) メッセージアプリで、仲間はずれにされた友人が... SNSで悪口を公開し、悪行を報告する被害届 	<p>◇AさんやBさんは「可愛くない」と否定されたと勘違いし腹を立ててしまいました。</p> <p>文字だけのコミュニケーションでは表情や声のトーンで意図を理解できないため注意が必要です。</p> <p>このようにインターネット上のコミュニケーションでトラブルになった時は、無料通話アプリのメッセージで謝ったり誤解を解くのではなく、直接、会って顔を見て話し、解決することが必要です。</p> <p>◇クラスや部活動、習い事、塾など生徒同士がメッセージアプリで繋がっているため、問題があった時の影響範囲も広がっています。</p> <p>◇問題のある書き込みや画像は、当事者全員のスマホやケータイ端末で個別に削除しないと消えません。</p> <p>但し、他のグループチャットや他のサービス(twitterやFacebookなど)に転載されてしまうと削除するのは、ほぼ不可能です。</p> <p>故に、インターネット上に永遠に残ってもよい書き込み内容や画像なのか、よく考えてから投稿するように注意する必要があります。</p>

5 : まとめ

■ねらい


インターネットの怖さや影響を理解し、どのように活用するのが適切な
のか、どのように利用すると危ないのかを把握する。

■展開	■DC	■留意点
<p>(1)インターネットの怖さについて</p> <p>DC : 1-1 「インターネットの怖さ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1 : 「世界中から見られています」 ・ Q2 : 「どんな相手かわかりません」 ・ Q3 : 「決して匿名ではありません」 ・ Q4 : 「あっという間に広まります」 ・ Q5 : 「一生、データが残ります」 <p>DC : 1-2 「書き込み内容に注意」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「うそ・悪口」 ・ 「他人のプライバシーをさらす」 ・ 「うわさ・デマをながす」 <p>これら学校生活やリアルな生活の中で生徒の皆さんが守っていることを、ネットの世界でも守りながらご利用頂くことが大切です。</p>	<p>インターネットの怖さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界中から見られています どんな相手かわかりません けっして匿名ではありません あっという間に広まります 一生、データが残ります <p>書き込み内容に注意</p>  <p>「スマートフォン」という道具を活用する力 「インターネット」で得られる情報を判断する力</p> <p>「なぜ」 危ないのか 「どうして」 ダメなのか 「より良く」 使うためにはどうしたらよいのか</p> <p>しっかり考えて行動しましょう。</p> <p>正しい知識を身につけて 安心・安全に インターネットを楽しみましょう</p>	<p>◇インターネットは便利なサービスだが、使い方を間違えるとトラブルになる。</p> <p>サービスの特性を理解して、適切な利用ができるようにするためには、十分に考えて利用する必要がある。</p> <p>どのようなトラブル事例があるか、生徒自身の利用方法で該当しそうなケースがあれば、トラブルを回避するためにはどのような利用の仕方が必要か、考えさせる。</p> <p>◇「学校生活や普段の友だちとのコミュニケーション等の現実の世界でやってはいけないことは、インターネットの世界でもやってはいけない。」ということを生徒自身に気づかせ、自覚を持たせることが必要と言える。</p>

6 : 保護者の皆様へのお願い

■ねらい

インターネットやスマホ、ケータイを適切に子ども達が利用するためには、保護者のサポートが不可欠です。特に注意頂きたい点をまとめています。

■展開	■DC	■留意点
<p>(1)保護者の皆様へ DC : 1-1 「子どもにスマホを持たせる前のお願い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q1 : 「使い方やルールについて話し合っていますか？」 ・ Q2 : 「利用者年齢はお子様の年齢で登録されていますか？」 ・ Q3 : 「フィルタリングサービスを登録していますか？」 ・ Q4 : 「フィルタリングソフトをスマホにインストールしていますか？」 		<p>◇4つのチェックポイントのうち、保護者がどこまで対応しているか確認してください。</p> <p>◇スマホ利用にあたってのルールづくりは、子どもと対話して決める方が、子どもは守る傾向にあります。 また、成長に応じて定期的なルールの見直しも有効です。</p> <p>◇実際に、ゲームやSNSサイトなどでは利用者の生年月日等を登録することで、大人からの悪質なメッセージをブロックしたり、課金額制限の設定を行っています。 子どもを守るために利用者の年齢登録は必須です。</p> <p>◇フィルタリングは有害な情報に子ども達をアクセスさせないための仕組みです。</p> <p>最近では、wifi環境にも対応可能であり、有害アプリの起動制限やスマホの利用時間を制限する機能等も追加されています。</p> <p>◇子どもの発達段階に合わせて、活用するサービスやアプリをコントロールする仕組みもあります。 詳細の設定は、各携帯電話販売店でも相談に応じてくれます。</p>